

# 安全報告書

2020 年度

有限会社 スカイオート



# 安全方針

有限会社スカイオートは、輸送の安全の確保が自動車輸送事業者の社会的使命と深く認識し、社員全員に輸送の安全確保が最も重要であるという意識の徹底を図り、安全マネジメント体制の維持、継続的な改善に努めるため、次のとおり安全方針を定める。

- 1、組織、従業員が活性化する為の企業風土を構築し安全に関する知識を高め、関係法令を遵守し安全安心な輸送を図る。
- 2、安全マネジメントに関する取り組みを年度毎に策定し PDCA サイクルを徹底することにより事故の未然防止に努める。

輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善 (Plan Do Check Act) を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって事業を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。

また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

有限会社 スカイオート

代表取締役 舘 秀幸

## 輸送の安全に関する基本方針

以下の基本方針を掲げ、社長以下全従業員に周知徹底し、輸送の安全確保を堅持してまいります。

- ☆ 社内団結して輸送の安全を最優先に行動する。
- ☆ 法令及び交通規則を遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。
- ☆ 常に輸送の安全確保に対する問題意識を持ち、継続的に見直し改善する。

## 環境方針

### <基本理念>

旅客自動車運送事業に携わる当社は、深刻化する大気汚染・地球温暖化を防止する為、環境保全への取組みが最重要課題であると認識し、すべての事業活動を通じて、環境保全活動に積極的に取組むとともに、安全で快適な運行と高品質なサービスの提供に努め、人と環境にやさしい地域社会の発展に貢献します。

### <基本方針>

1. 環境関連法規制及び条例等その他の要求事項を遵守します。
2. アイドリングストップなどエコドライブを徹底し、省エネルギー運動を推進します。
3. 廃棄物の排出抑制・適正な処理及びリサイクルの推進に努めます。
4. 社員への環境教育を実施し、環境行動への意識と知識の向上を図ります。
5. 環境方針に沿った目標を設定し、定期的な見直しを行うことで、継続的な維持・改善に努めます。

有限会社スカイオート  
環境保全管理責任者  
代表取締役 舘 秀幸

## 輸送の安全に関する目標・実施結果

当社では、安全管理体制を構築させる為に全ての事故を計上し、原因を分析して対策を講じております。2020年度の輸送の安全に関する目標と達成状況は以下の通りです。

2020年度 目標	2020年度 実施結果
1) 人身・重大事故：『ゼロ』の継続 物損事故：『ゼロ』 2) 車内事故件数『ゼロ』の継続 3) 車両故障件数『ゼロ』の継続	1) 人身事故・重大事故：0件 物損事故：1件 2) 車内事故件数：0件 3) 車両故障件数：0件
4) 関係法令及び社内規程の遵守 飲酒運転根絶・薬物使用の厳禁 5) 苦情件数『ゼロ』	4) 飲酒：0件 交通法令違反：0件 薬物：0件 5) 苦情件数：1件
6) 社内安全体制の確立 ・外部関連機関指導下の実施訓練の継続 ・車両の構造の理解 ・エコドライブの推進 ・新型コロナウイルス感染防止対策	緊急時の救命救護訓練：1回（7/13・7/14 日本赤十字指導） 車両火災消火訓練・避難誘導訓練・非常用器具使用訓練実施 ：1回（6/9 矢吹交通合同にて） 運転技術向上講習：1回（8/4 事業用自動車運転訓練講座） バス構造の講習：1回（オーバーハング・死角・内輪差） 車両別動作特性把握（10/12） バス安全装置装備車の作動確認実走行訓練（8/5・1/13） 雪上走行訓練：1回（1/13 あだたらスキー場にて） ドライブレコーダーの記録動画を使用した安全運転指導強化： 合同指導4回 6/8・6/22～24（外部講師指導）・ 8/3～5（外部講師指導）・10/12、他個別指導 エコドライブ研修：2回（8/4・10/12） ※エコドライブ推進強化月間（11/1～30）

◆人身重大事故は『ゼロ件』で達成できました。

しかし、新型コロナウイルス感染防止対策による「緊急事態宣言」等の影響を大きく受け、運行数が大きく減少し、運転実務間隔も大幅に空く状況が運転操作感覚に影響したのか、バック時に「確認ミス」が原因となる物損事故が1件発生し、無事故日数が393日で途絶えました。この1件の事故は、マイクロバスにて実車運行が終了し、帰路途中の間口が5.8Mと幅広な道路での切り返し時に車両後部接触という軽微な事故ではありましたが、前年度発生事故同様に帰途路の心理的「安心感」により基本動作を怠った為に発生したと推測される事故でした。常に、「安全確認」「ゆとりある運転」を念頭に2021年度は、再度無事故達成を目指し運転者の適正診断や健康管理に係る診断結果の観察と個別対談を強化し運行中の「健康起因による事故の発生」防止を図るための対策を最重要課題として取り組む所存です。

◆苦情1件は、高速道路走行時の運転操作に対するものでした。

車体の大きさから他車両へ圧迫感を与えてしまうことがある点を再認識し、常に緊張感を持って、安全運転・他車両への思いやり運転を心がけるよう、指導教育を行います。

◆社内安全体質の確立については、国土交通省・日本バス協会等の指導指針を踏まえ「お客様の安全を第一」とし、専門家のご指導や関係機関のご指導と協力を得、合同訓練や講習会を積極的に実施しました。乗務員教育内では特に「ドライブレコーダーの記録動画を使用した安全運転」の指導項目を事故防止の重点強化実施事項として、外部講師をお招きし、『事業用自動車運転訓練講座』延べ6日間の講習会を実施して、全社員の安全運転に対する意識向上の育成に取り組み、又、運転技術の向上を図るため「タコ壺切り返し」・「雪上走行訓練」等の参加型の指導教育を増加致しました。

また、急のつく運転は避け車間距離を確保する等、エコドライブの推進に関する指導教育を行い、11月のエコドライブ推進強化月間後には各自取組み結果や反省・改善点の情報共有も行いました。「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を認証する制度である、「グリーン経営認証」取得を目指し、今年度新たに申請を行いました。2021年3月18日に訪問審査が行われ、不適合事項は確認されませんでした。2021年4月15日付で新規登録をされる予定です。

◆新型コロナウイルス感染防止対策

今年度の最重要課題は新型コロナウイルス感染防止対策であり、「貸切バスの感染予防対策ガイドライン」に殉じ、「換気」「消毒」「乗務員の健康チェック」「マスクの着用」の各項目で貸切バス全車両及び点呼時における対策を行いました。

・車両対策



(車両内光触媒施工の実施)



(オゾン発生装置の設置)



(飛沫感染防止パーテーション施工)



(除菌アルコール設置)



(乗務員による出庫前 及び 実車時の休息時における車内アルコール消毒の実施)

# 輸送の安全確保をする為の取り組み

## <行動計画>

- 1、安全管理（安全マネジメント）における PDCA サイクルの徹底。
  - ア、ドライブレコーダー録画使用による指導教育の強化（4回/年）
  - イ、車両の特性の再確認による事故防止強化。
  - ウ、緊急時の対応訓練の継続。（年1回避難誘導訓練・救命救護訓練・非常用具の使用法）
  - エ、路面状況に適した運転方法の訓練。（凍結路面・積雪路面・乾燥路面等）
  
- 2、関係法令及び社内規定の遵守
  - ア、苦情原因の徹底解析。
  - イ、運行区域内の危険個所の把握・グループ内事故原因の解析と対処法。

輸送の安全確保を目的として取り組んだ各種施策事項、以下の通りです。

- 1) 安全管理 『社長同席の定例会議の開催』1回/月  
安全に対する意識をより向上させる為に、中堅管理職の指導と、責任感を養うことを目的とし、安全目標に対する状況を確認し、問題点改善に取り組み、乗務員研修の場において、全社員の意識の向上に取り組みました。

## ◆ 社長同席による安全定例会議（系列会社（有）矢吹タクシー合同実施）



（年間安全報告）



（月度会議）



月度内の安全管理状況及び社内規定の遵守状況の報告と次月に対する対策（PDCA）

## ◆輸送の安全教育年間実施事項

### 1. 『事業用自動車運転訓練講座』

初級（2020年6月22日・23日・24日） 3日間 10：00 ～ 17：00

中級（2020年8月3日・4日・5日） 3日間 10：00 ～ 17：00

講師 株式会社ディ・クリエイト 上西 一美 氏  
川田社会保険労務士 川田 政 氏

内容 「ドライブレコーダーの記録を使用」した映像による事故の解析

- ・事故に起因する三要素「認知」「判断」「動作」
- ・事故の最大の原因は「目：見落とし」
- ・人間の本质（目の限界：有効視野・限界時間・よそ見）
- ・事故防止のA・B・C
- ・進路変更の手順（右折・左折）

「プロの運転」とは

「運転技術向上研修」

「道路運送法」

「妨害運転罰則対象となる違反行為」

- ・新設された法令（あおり運転の対象となる違反）

「小学生の事故・自転車の事故」

- ・予測運転の必要性（記録動画から学ぶ）

「事故の判例」

- ・事故後の加害者&被害者の実状
- ・精神的なリスク

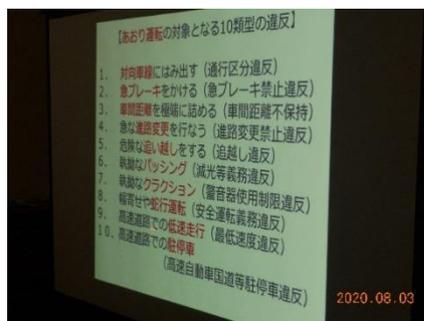
「接客サービスの心」

- ・お客様の立場から考えた行動（障害をお持ちのお客様の状況を学ぶ）

上記内容の研修を通して、安全に対する再認識を行いました。



（事故に起因する三要素について）



（妨害運転罰則規則）



(プロの運転とは?ディスカッション)



(接客サービスの心)

## 2. 『車両の構造の理解』(2020年6月26日 10:00 ~ 15:00)

内容 車両の構造と動作、死角の違いについて、基本的なことを学びました。  
「日野自動車」と「三菱フソウ」の車両ごとの動作の違いに応じた操作方法の心構え、死角の把握や車両別安全確認のポイントの再確認を行いました。



## 3. 『救命救護』(2020年7月13日・14日 9:00 ~ 12:00)

講師：日本赤十字救急法指導員 柴原 隆夫 様、松山 宏幸 様



(心肺蘇生法 習得訓練 2020年7月13日・14日)

#### 4. 『乗務員の健康管理』

##### (1) 健康診断結果報告書確認後の個別面談（随時）

- ・ 血圧って何？ ・ 高血圧の種類 ・ 血圧が上がる原因 ・ 日常生活のポイント
- ・ 予防のための食生活 ・ 減塩対策 ・ 治療方法と報告等



（安全運行は先ず自己の体調管理と真剣

に相談対処）

##### (2) 保健衛生師の指導による生活習慣の改善指導（2020年11月16日・20日）



（保健衛生師による健康相談会）

##### (3) 健康と交通事故の関連性を学ぶ（2020年10月12日・13日）



（健康状態が起因する交通事故の割合とその病名）

#### 5. 『ドライブレコーダーの録画使用による安全運転指導』 4回/年間

事故発生の原因解析（2020年6月・2020年8月・2020年10月・2020年12月）



(横断歩道での事故・自転車での事故等を検証し、危険予測を数多く実施)



(事故録画を視聴後に事故発生原因と対策をディスカッションにて検証)

#### 6. 『区域内経路及びツアーコース内の危険箇所特定』(2020年11月16日)



(運行区域内道路問題及び走行上の危険箇所の情報交換にて危険回避)

#### 7. 『運転技術向上研修会』

- (1) エコドライブ運転確認・道路状況にあった安全運転 (2020年8月4日)  
運転技術の評価とエコドライブ、安全確保の訓練を行いました。



(運転技術評価と、乗降時安全確保の訓練風景・経験年数別にて実施)

- (2) エコドライブ研修 (2020年10月12日)

日本バス協会主催 エコドライブ強化月間 (11月1日～30日) にて重点実施事項を確実に取組むため、「エコドライブ10のすすめ」をもとにエコドライブに必要な運転技術や心がけを今一度確認し、意識向上を図りました。



(3) 雪上走行訓練 (2021年1月13日) あだたら高原スキー場駐車場

御協力：富士急安達太良観光株式会社 様



(急操作時のスリップテスト)

(VSC装置横滑り体験)

(積雪登坂路走行訓練)



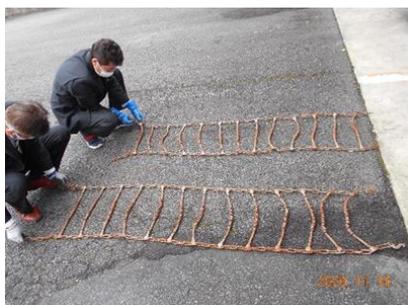
(降雪現場でのタイヤチェーン着脱研修)

(4) タコ壺切り返し (2020年8月4日)



(15m四方のタコ壺に入り、180° 切り返し方向返還の後、入り口から脱出)

(5) 『降雪季に備えてタイヤチェーン等の装備品点検』 (2020年11月16日・11月30日)



8. 『非常口の開閉訓練』 (2020年6月8日)



9. 『代表取締役社長による乗務員面談指導』



10. 『緊急時避難誘導訓練』 (2020年6月8日 / (有) 矢吹タクシーと合同にて訓練実施)

非常用具の使用 (発煙筒・三角停止表示板・消火器)・乗客の安全誘導・事務所へ通報



(非常用具の使用訓練)



(避難誘導訓練)



(緊急時通報訓練)

11. 『タイヤ交換後の増し締め点検』(2020年12月)

御協力：ブリヂストンタイヤサービス須賀川店 様



(走行時のタイヤ脱落防止の為、300Km程度の走行後を目安に増し締め点検実施)



(安全走行の為、全車両を対象に足回りの十分な点検確認作業を行っています)

12. 『バスジャック対応訓練』(2021年2月16日・2月17日)



(バスジャック発生シミュレーション)



(運転手は乗客の安全確保しつつ暗号通報)



(暗号通報受けの確認が事務所から連絡)



(暗号連絡受け 110 番通報)

## 令和3年度 輸送の安全確保計画

### 【目 標】

1. 人身事故・重大事故『ゼロ』の継続
2. 車内事故件数『ゼロ』の継続
3. 事故全般件数『ゼロ』
  - ①構内事故 ゼロ件
  - ②バック事故 ゼロ件
4. 飲酒運転・薬物使用の厳禁 『ゼロ』の継続
5. 関係法令に基づく社内規程の遵守
  - ①法令違反 『ゼロ』 の継続
  - ②苦情 『ゼロ』 に挑戦（再）
6. 社内安全体質の確立
  - ①外部関連機関指導下の訓練に対する積極的参加
  - ②車両の安全装置及び車両の構造上の特性の把握

### 【輸送の安全に関する重点計画】

1. 安全管理（安全マネジメント）PDCA サイクルの取り組み確認と改善
  - 1) 点呼のあり方を改善
  - 2) 新型コロナウイルス感染防止の為：健康管理目標（うがい・手洗いの徹底）
  - 3) 健康診断結果に対する個別面談（医療受診勧奨及び応談）
2. 輸送の安全に向けた教育の年間計画を作成し、実施いたします
  - 1) ドライブレコーダ録画参照による乗務員指導（乗務員研修及び個人指導4回/年）
  - 2) 路面状況に適した安全運転方法の訓練（夏・冬半期毎1回/人）
  - 3) 緊急時対応訓練（救命救護・避難誘導・消火・非常用用具の使用法）（年1回）
  - 4) 車両の特性の掌握による事故防止強化（オーバーハング・内輪差・死角把握）
  - 5) ドライバーの体調及び精神的コンサルティング（半期毎1回）
  - 6) 事故惹起者への指導（原因追及と回避方法の研究・随時）
  - 7) 外部講習受講にて乗務員の知識習得及び意識改善（NASVA 指定）
  - 8) 苦情報告と指導（発生の場合都度）
3. 関係法令及び社内規定の遵守
  - 1) 交替運転手の配置基準（時間の掌握）
  - 2) 道路運行法の再確認

## 安全マネジメント実施計画(令和3年度)

①事業用自動車を運転する心構え ②運行の安全及び旅客の安全を確保するための基本事項:基本毎月実施

期日	指導時間	実施内容	外部講師
4月	180分	③車両の構造上の特性 ⑥運行の路線及び交通状況の把握 ⑩健康管理の重要性	
5月	180分	④乗客の安全確保 ⑦危険の予測及び回避 ⑧運転者の適性に応じた安全運転 ⑬安全装置を備えた貸切バスの適切な運転方法	路上訓練 路上訓練
6月	180分	④避難誘導訓練 ⑤乗降時の安全確保 ⑫非常用・非常口・消火器の使用 ⑭ドライブレコーダー録画を利用した安全運転指導	
7月	240分	③車両の構造上の特性 ⑦危険の予測及び回避 ⑪異常気象時の対応	
8月	240分	④乗客の安全確保(救命・救護訓練) ⑫消火器の使用	消防署
9月	180分	⑤乗降時の安全確保 ⑦危険の予測及び回避 ⑨生理的要因・心理的要因による交通事故についての理解	
10月	180分	③車両の構造上の特性 ②労基法の習得 ①事業用自動車を運転する心構えするための基本事項 (飲酒運転撲滅・苦情の撲滅)	
11月	180分	④乗客の安全確保(日常点検の重要性) デジタコの記録からの運転指導 ⑦危険の予測及び回避	
12月	180分	①模範運転と事故撲滅 ③タイヤ脱落防止 ⑭ドライブレコーダー録画を利用した安全運転指導	BST須賀川
1月	180分	③車両の構造上の特性 ④乗客の安全確保(バスジャック) ⑦危険の予測及び回避 ⑩健康管理の重要性	協会けんぽ
2月	240分	④乗客の安全確保(雪上走行研修) ③タイヤチェーン装着訓練 ⑧運転者の適性に応じた安全運転 ⑬安全装置を備えた貸切バスの適切な運転方法	路上訓練 路上訓練
3月	240分	④避難誘導訓練 ⑤乗降時の安全確保 ⑨労務関係研修(交替運転者の配置基準) ⑫非常用・非常口・消火器の使用	

## 2021年度 事故防止重点実施事項

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の交通安全運動 4/6～4/15</li> <li>・かもしれない運転の励行</li> <li>・新入学児童、老人に対する思いやり運転</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うっかり事故防止「車間距離確保、一時停止の厳守基本行動の徹底」</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の死角、安全速度の励行 6/1～6/30</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動 7/16～7/25</li> <li>・車間距離確保、急制動の禁止「飛び石・追突防止」</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直そう危険な習慣、悪い癖「より良い食事、運転操作時の携帯電話厳禁」</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の交通安全週間 9/21～9/30</li> <li>・運行経路上の危険個所周知</li> <li>・道路情報等の情報交換を密にする</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構内、駐車場での事故防止</li> <li>・「再度確認、バック時前後、オーバーハングの左右」</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過労防止「睡眠時間の確保」</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末年始の交通事故防止 12/10～1/7</li> <li>・雪道走行の事故防止「早めのブレーキ、なくそう急制動」</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スリップ事故防止「路面凍結場所の危険予測」</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー対策「そろそろ飛散する、スギ花粉対策」</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進装置に頼らない安全運転「予測運転励行、安全装備の有効活用」</li> </ul>